

多面的機能の維持・発揮活動「第12回 みえのつどい」

『世代を超えて地域の“きずな”を育もう、それは未来への種まき』

日時：令和元年12月14日（土）12：30～16：00

開場 11：30～

場所：三重県総合文化センター（津市一身田上津部田 1234）

●プログラム

◆全体会【中ホール】

開会挨拶、優秀活動の表彰及びフォトコンテスト受賞作品紹介 12：30～13：10

基調講演 「人口減少社会における、新たな地域づくり」 13：10～14：30

合同会社人・まち・住まい研究所代表社員 浅見 雅之氏

◆分科会 14：50～16：00

第1分科会【中ホール】

テーマ：多面的機能支払の取組事例報告

・農業・農村の多面的機能の発揮に向け、先進的な活動事例の情報を共有し、活動の更なる充実や活動組織間のネットワーク形式を図ることを目的としています。

第2分科会【セミナー室A】（定員72名）

テーマ：より良い地域づくりに向けて

～次世代リーダーへの継承・活動の自立に向けた体制づくり～

・高齢化や過疎化により共同活動への参加者が減少してきているほか、役員のなり手不足等により活動の継続を不安視する組織も現れています。

多面的機能支払活動の持続と地域の協働力の強化を図っていくために、将来の活動を担うリーダー、人材の育成に焦点をあてます。講演部分では、住民参加の重要性、ワークショップの活用について紹介し、ワークショップでは各活動組織の工夫に関する情報交換を行うことを通じ、自らの地域の活動を見つめ直し今後の活動継続の参考としてもらうことを目的に開催します。

第3分科会【セミナー室C】（定員 96名）

テーマ：むらの応援企業を呼び込もう！～企業と連携したむらづくり～

・豊かな農村資源を持ちながらも、人口減少、高齢化等により活力が低下しつつある農村地域と、社会貢献や福利厚生を考えている企業が手を組むことで、新たな価値の創出を目指すことができます。三重県内でも、三重の農村を応援する企業との連携により、農村と企業が共に田植え・稲刈り等の営農活動や耕作放棄地の解消に取り組み、地域の活性化につながっている事例があります。

このような連携を促進するため、農村が企業に連携を働きかけるための道筋を考える分科会を開催します。

第4分科会【第1ギャラリー】（定員 84名）

テーマ：三重まるごと農村体験～子供たちとともに取り組む地域活動～

・豊かな自然に恵まれた三重の農村では、地域の特性に応じた農業生産が営まれています。そして、人の手によって適切に維持された農村は、自然と人の共生の場となり、その恵みが地域の伝統文化を育んできました。

県内でも、各地で豊かな自然や文化を活かした地域活動が実施されます。このような活動は、子供たちの郷土愛や生きる力を育み、地域の将来に新たな活力をもたらしますことから、多面的機能支払の活動組織における取組拡大を進めるための分科会を開催します。

第5分科会【多目的ホール】（定員 200名）

テーマ：実践活動（畦畔保全・補修メンテナンス・保険等）

・日々の共同活動で万が一、事故にあった時の保険の紹介、地域の共同活動によって地域資源の適切な保安全管理を推進するため、農業者・地域住民が自らできる補修技術の向上、雑草繁茂・病虫害発生防止の抑制、草刈りの労力の軽減のための防草ネット等の設置技術の向上を図るために開催します。

●多面的活動情報コーナー【中ホールエントランス】

11:30～16:00 フォトコンテスト応募作品、活動紹介コーナー、三重県PRコーナー、いなか旅・自然体験PRコーナー